

2011 年度 心コミ大賞 イベント部門 審査結果並びに講評

<審査員> 蓑内、鹿内、濱、石川

【イベント部門】

心コミ大賞:礎の石賞 該当無し

奨励賞 「フェアトレード商品の販売体験」
川岸唯香・長岡あかり・福田愛菜・古瀬雪菜・間杉愛加
井林梓・宇野舞子・佐藤美咲・高橋知晴・山梨さくら

講評:

イベント部門には、1 件のみの応募という状況でした。もう少し応募があるのかと期待していましたが、応募の数については残念な結果になってしまいました。少なかった理由としては、イベントを実施するとなると多くの時間を要したり、他の人と協力したりする必要があるからでしょうか。たしかにイベントの実施までには多くの時間・エネルギーが必要になりますが、その分、イベントを実施・成功させた後にはそれ以上の充実感・満足感も得ることができます。また、イベント部門で求められる内容(企画すること・行動すること・協力すること)は心コミの教育の特徴とも言えますので、次年度以降、多くの実践・応募を期待しております。

今年度は「大賞(礎の石賞)」は該当なし、北見商業高校の「フェアトレード商品の販売体験」を「奨励賞」といたしました。受賞された北見商業高校 3 年生 10 名の皆さん、おめでとうございます。

心コミ大賞:礎の石賞 該当無し

奨励賞 「フェアトレード商品の販売体験」
川岸唯香・長岡あかり・福田愛菜・古瀬雪菜・間杉愛加
井林梓・宇野舞子・佐藤美咲・高橋知晴・山梨さくら

奨励賞の「フェアトレード商品の販売体験」は、バングラディッシュやネパールなどの途上国で生産された食品や民芸品を北見地区で販売するというフェアトレードの実践でした。この活動を通して、世界の経済活動の理解だけではなく、実践されたみなさんの企画力・行動力・協調性なども身に付いたことと思います。実際の活動の様子は見ることはできませんでしたが、活動内容や反省についてのレポートから、イベントの実施までに多くの努力と時間を要されたことがうかがえました。また、この取り組みについては新聞で報道されるなど、社会的にも高く評価されていました。